

市立各小・中・高等・特別支援学校長 様  
市立幼児教育センター付属幼稚園長 様

さいたま市立高砂小学校長 浅見 茂男

## 第42回公開研究協議会(自主発表)の開催について(御案内) (最終案内)

このことについて、下記のとおり開催しますので、貴職及び関係職員に参加について格別の御配慮を賜りますようお願いいたします。

記

### 1 研究主題

子どもの学びを基軸にした教育課程の創造  
～子どもが学びを実感できる授業づくり～

2 日 時 平成26年 2月 7日(金) 13:00～16:45

3 会 場 さいたま市立高砂小学校  
さいたま市浦和区岸町4丁目1番29号 電話048(829)2737

4 指 導 者 文教大学教育学部教授 嶋野 道弘  
さいたま市教育委員会指導主事 眞崎 廣久  
さいたま市立上木崎小学校長 駒宮 寿夫  
さいたま市立柏崎小学校長 中山 正一  
さいたま市立大宮東小学校長 関根 好幸  
さいたま市立大谷口小学校長 小川 直美  
さいたま市立向小学校長 小林 真理子  
さいたま市立日進北小学校長 今田 正幸  
さいたま市立谷田小学校長 矢田 明正  
さいたま市立宮前小学校長

(敬称略)

### 5 日 程

受付	公開授業	全体会	分科会	講演
13:00 ～ 13:15	13:30 ～ 14:15	14:25 ～ 14:40	14:40 ～ 15:40	15:50 ～ 16:45

6 公開授業等

(1) 公開授業 (13:30~14:15)

教科等	学年・組 授業者	「単元名・題材名等」 授業の見どころ
国語	1年1組 井上 貴子	「ようちえんのともだちに むかしばなしを かたりで つたえよう」 ・各自のめあてに沿って昔話を語り、聞き手はそのめあてに沿って聞き、友達の語りのよさを見付ける。 ・友達から受けた感想や幼稚園の友達に昔話を語る時のめあてを出し合ったことから、「語り上手になるためのこつ」を考え、まとめる。
社会	4年2組 大河原 千尋	「蔵づくりのまち川越」 ・蔵づくりの街並みの特色について、「保護」・「活用」といった視点を明確にし、地域のよさを生かしたまちづくりへの理解を深める。 ・学習問題のまとめを、ゲストティーチャーの話やこれまでの学習を根拠に考え、蔵づくりの街並みを支えている地域の人の思いや願いに迫る。
算数	6年1組 軽部 雅子	「順序よく整理して調べよう」 ・試行錯誤をしながら、起こり得る場合について、落ちや重なりがない整理の仕方を考えていく。 ・整理していく過程に重点をおき、どのように考えたのか図や表を基にして、学び合う。
理科	3年3組 和久井 剛志	「物の重さをくらべよう」 ・物の形を変えると重さは変わるのか、自分なりの根拠をもって予想し、実験に取り組む。 ・どんな形を調べるのか理由を明確にして話し合い、考えを深める。
音楽	3年1組 佐々木良枝	「森のイメージから音楽をつくろう」 ・音楽の仕組みを生かして、音を音楽に構成し、森の様子を音楽にしていく。 ・再現した演奏グループの音楽について音楽活動と言語活動を往還することで、友達と共に学び合えるようにしていく。
図画工作	5年1組 橋本 桐子	「伝えたい その決定的瞬間!!」 ・友人との共通経験や印象に残った場面を話し合うことにより、作品づくりに対する思いを高める。 ・針金を操作する作業を通して、その特性から「曲げる」「ねじる」「切断する」「編む」「つなげる」等の技法が可能であることに気付く。
体育	3年4組 小坂井達也	「ネット型ゲーム (キャッチバレーボール)」 ・プレイヤーの数を段階的に増やしていくことで、ゲームに必要な技能を考え、身に付けられるようにする。 ・ボールの動きを可視化した分析カードを用いて、話し合いを充実させ、学び合いを深めていく。
自立活動	難聴・言語障害 通級指導教室 牧本 麻実	難聴のある子のグループ指導 「話し合いをしよう ー低学年の仲間をもてなそうー」 ・高学年の子どもたちが、自分たちなりの「おもてなし」を考え、交流会の計画を立てる。 ・話し合いに積極的にかかわり、互いに安心して思いや考えを伝え合える経験を積み重ね、自己有用感を味わえるようにする。

(2) 全体会 (14:25~14:40)

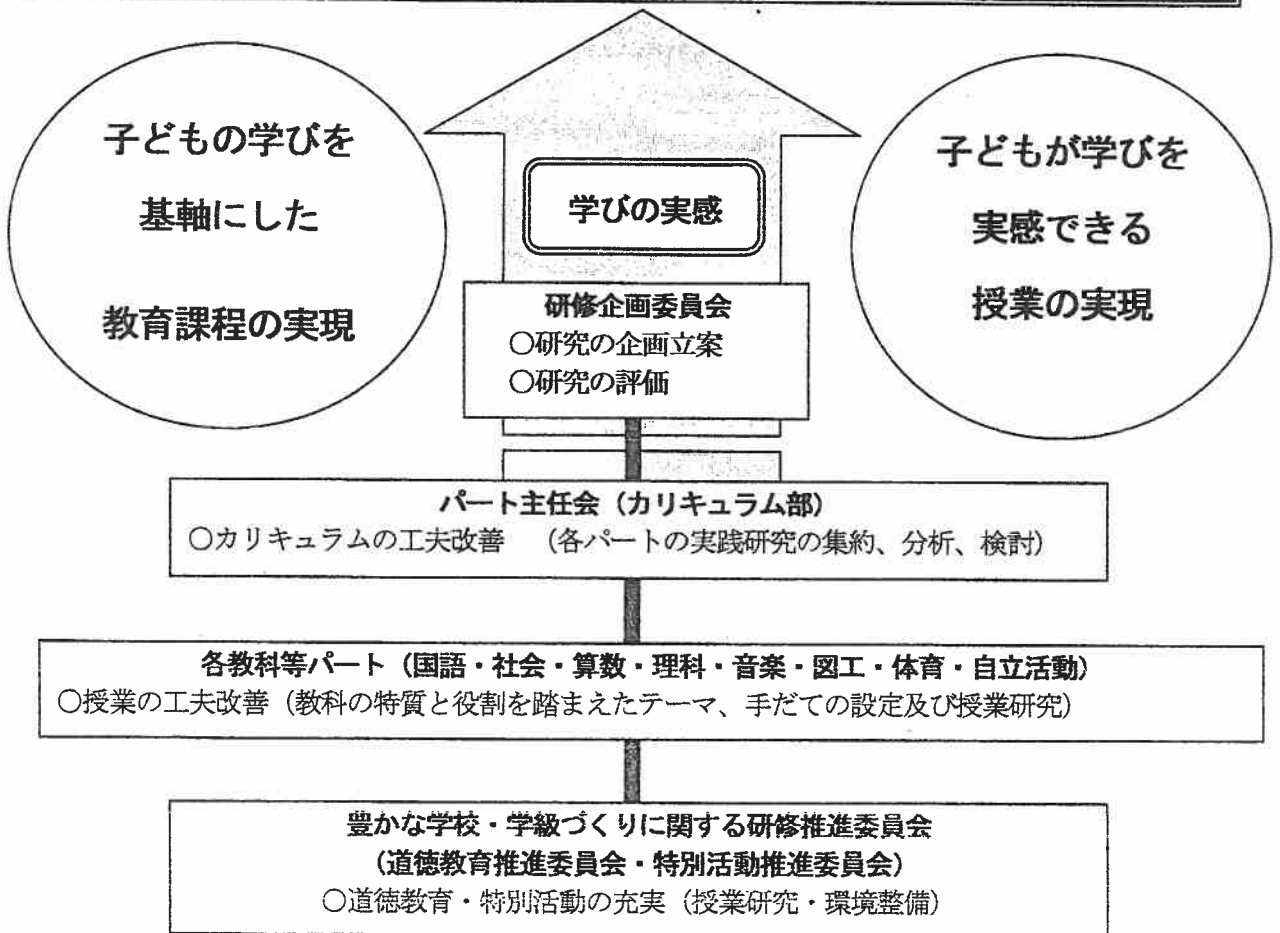
<研究の全体構想>

研究テーマ **子どもの学びを基軸にした教育課程の創造**

サブテーマ **～子どもが学びを実感できる授業づくり～**

目指す子どもの姿

- 自分が生きていくために必要な知識・技能を身に付けている子ども
- 柔軟に思考し、問題を解決する子ども
- 豊かに表現し、学んだことが使える子ども
- 他者、自然とかかわり、よりよい自分への変容を目指す子ども



(3) 分科会 (14:40~15:40)

教科の特質や教材の本質に触れ、他者とのかかわりや生活とのつながりを通して、「分からなかったことが分かった。」「学んだことが使える。」「よりよい自分になることができた。」など、子どもが、学習の成果から達成感や自信を覚え、学んだことを自覚する姿を具体化していきます。

本研究2年次、これまでの「高砂小の授業づくり・9の重点」を見直し、国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、体育、自立活動（特別支援教育）の8つの各教科等パートで、「子どもが学びを実感できる授業づくり」の工夫改善に取り組みました。他者とのかかわり合いを通して、学び合う活動を充実させ、授業研究を積み重ねてきました。分科会では、各教科等パートからの提案と公開授業についての協議を行います。

(4) 講演 (15:50~16:45)

# 子どもが学びを実感できる授業づくり

## ～学び合う活動の充実～

講師 文教大学教育学部教授 嶋野 道弘

7 交通案内 JR浦和駅(京浜東北線・宇都宮線・高崎線)西口より徒歩3分  
※駐車場はありません。公共交通機関等を御利用ください。

8 その他 ・申し込まれる方は、申し込み用紙に記入の上、FAXにて送信  
ください。なお、当日参加も受け付けます。  
・資料代は1,000円です。当日、受付にてお支払いください。  
・本校ホームページ (<http://takasago-e.saitama-city.ed.jp/index.html>) も  
御覧ください。

9 備 考 本研究発表会の開催は、さいたま市教育委員会(平成25年9月17日付  
け教学指1第4818号)により承認済みです。

### 第42回 公開研究協議会参加申し込み用紙

さいたま市立高砂小学校 行

FAX番号048(835)1260

学校名									
所在地	〒 -								
連絡先	TEL ( ) -				FAX ( ) -				
職名	氏名	参加予定分科名 (○をお付けください)							
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立